

会議の名称	第4回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会
開催日時	令和7年 5月23日(金) 午前・午後 3時00分から 午前・午後 4時15分まで
開催場所	本庄市役所5階 504会議室
出席者	(委員) 下野戸会長(本庄市教育委員会教育長)、笠原委員(本庄市教育委員会事務局長)、門倉委員(本庄市スポーツ協会副会長)、高橋委員(本庄市スポーツ少年団本部長)、清水委員(神流川スポーツクラブ)、市川委員(本庄市文化団体連合会会長)、高月委員(藤田小学校校長)、根岸委員(本庄東中学校校長)、手島委員(本庄西中学校校長)、飯島委員(本庄南中学校校長)、瀧澤委員(児玉中学校校長)、小林委員(本庄東中学校部活動担当者)、田島委員(本庄西中学校部活動担当者)、玉置委員(本庄南中学校部活動担当者)、大木委員(児玉中学校部活動担当者) (事務局) 西田学校教育課課長、櫻井学校教育課指導主事兼課長補佐兼指導係長、田中学校教育課指導主事、野口生涯学習課課長、折茂スポーツ推進課課長、飯川スポーツ推進課課長補佐兼スポーツ推進係長
欠席者	(事務局) 松澤生涯学習課課長補佐兼公民館係長
議題 (次第)	1. 開会 2. 委嘱状の交付 3. あいさつ 4. 委員紹介 5. 議事 (1) 本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱 (2) 今年度の取組内容及び各中学校の実証事業における候補部活動の紹介 (3) 指導者の公募について (4) 説明会の実施について 6. その他 7. 閉会
配付資料	・次第

	<ul style="list-style-type: none"> ・委員名簿 ・座席表 ・本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱 ・資料【地域クラブ活動整備事業】本庄市 令和7年度の取組 ・資料 部活移行委員会について
その他特記事項	本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱第8条の規定により、会議を公開とする。
主管課	教育委員会学校教育課

会 議 録

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局（田中）	<p>皆さんこんにちは。定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日は、ご多用中のところ、本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、学校教育課の田中でございます。どうぞよろしく願いいたします。開会の前に、今日お配りいたしました資料の確認をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の次第 ・委員名簿 ・座席表 ・本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱 ・資料「本庄市 令和7年度の取組」 ・資料「部活移行委員会について」 <p>皆さまのお手元の資料はよろしいでしょうか。また、本協議会は本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱第8条により、公開となっておりますので、ご承知おきください。</p> <p>それでは、ただいまより、第4回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会を開会いたします。お手元の次第に沿って進行させていただきます。</p> <p>はじめに、委嘱状の交付を行います。教育長から交付させていただきます。</p> <p>（教育長から以下の者へ委嘱状を交付）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・門倉 道雄 様（本庄市スポーツ協会副会長） ・高橋 猛 様（本庄市スポーツ少年団本部長） ・清水 隆二 様（神流川スポーツクラブ）

	<p>・市川 隆雄 様（本庄市文化団体連合会会長）</p> <p>ありがとうございました。なお、時間の関係上、大変申し訳ありませんが、学校関係者の方の委嘱状は机上に置かせていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>続いて、本庄市教育委員会下野戸教育長より挨拶を申し上げます。</p>
下野戸会長 （教育長）	<p>改めましてこんにちは。ただいまご紹介いただきました本庄市教育委員会の下野戸でございます。本日はお忙しいなか、第4回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会にご参加いただきまして大変ありがとうございます。</p> <p>部活動の地域移行、最近では地域展開であるとか、色々な言い方があるわけですが、本協議会におきましては、少子化、教員の働き方改革、そういったものも進むなかで、持続可能な部活動のあり方を本市としてはどうしていったらいいのかと、子どもたちのためにどういう形で進めていくのがいいのかということを検討し、それをもって子どもたちの健全な育成に資するということを目的にしております。</p> <p>解決していかなければならない課題も大変多くございまして、本日の議事にたくさんの議題が載っておりますが、それぞれ事務局から説明をさせていただきます。ぜひ皆さま方の貴重なご意見を頂戴いたしまして、本市の実情に合った部活動の実現に向けて、活発な議論をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局（田中）	<p>ありがとうございました。続きまして、委員紹介ですが、お配りしてあります名簿にて代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきます。本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱第5条第1項により、議長を会長をお願いいたします。</p>
下野戸会長 （教育長）	<p>それではこれより「5 議事」に移らせていただきます。はじめに、（1）本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（田中）	<p>それでは配付しました資料の「本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱」をご覧ください。本協議会は設置要綱に基づいて開催されておりますが、時間の関係上、すべては読み上げませんが、設置や組織などの規定がございますので、ご確認いただければと思います。以上でございます。</p>
下野戸会長	<p>ただいま事務局から説明がありました。設置、組織、任期、会議、</p>

(教育長)	<p>また、会議の開催の事前公表、会議の傍聴など、設置要綱に規定がございますが、これをご覧いただきまして、何かご質問等ございましたらご発言をお願いできればと思います。</p> <p>(質問なし)</p> <p>ないようですので、(1)については終了させていただきます。</p> <p>続きまして、(2)今年度の取組内容及び各中学校の実証事業における候補部活動の紹介について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (田中)	<p>それでは、資料「本庄市 令和7年度の取組」の1ページから4ページをご覧ください。</p> <p>第3回の協議会でもお伝えいたしましたが、国のガイドラインを受け、県は令和6年3月に、埼玉県地域クラブ活動推進計画を策定しております。県の計画は、国が改革推進期間と位置づける令和5年度から令和7年度までの3年間としております。</p> <p>また、計画期間終了後の令和8年度以降においては、部活動の地域クラブへの移行に向けた環境整備にかかる進捗状況を評価・分析いたしまして、継続して地域クラブ活動への移行と定着を推進することとしております。</p> <p>それを受けて本市においては、令和4年10月に教職員へのアンケート調査を実施いたしました。令和5年12月に意見交換会を行ったあと、令和6年3月に協議会を設置いたしました。</p> <p>今年度は、学校部活動を地域クラブ活動に段階的に移行していく予定であります。本市4中学校において、まずは、1部活動を地域移行、地域展開の対象として、令和8年度以降の取り組みについて実証を行っていく予定です。各中学校の対象部活動は、この資料の4ページに載せさせていただいております。まだ確定していないところもあるかと思いますが、ご確認をお願いいたします。以上でございます。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>事務局から説明がありましたが、2ページの令和7年度の本市の取組では、国及び県の実証事業を活用していくということがございます。3ページはスケジュール、4ページは現在のところまだ検討中のところもありますが、各中学校の1部活動を選んでということになっているわけですが、今はこのような様子ということでございます。</p> <p>校長先生も変わられて難しい部分もあるのかもしれませんが、各中学校でこれを選んだ理由ですとか、そういったものがあればお聞かせ願えればと思いますが。</p>
門倉委員	4ページのことについて質問があります。各中学校の部活のな

(本庄市スポーツ協会)	<p>かから一つ選ぶということになっていると思いますけれど、これは本庄市の教育委員会から一つということで投げかけたのですが、日本中だと色々なやり方がある、部活自体を統廃合したりですとか、例えば、バスケットなら児玉中、野球なら東中というようにやっているところもあります。</p> <p>やり方はたくさんありますが、そういったことは検討されていないのでしょうか。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>本庄市としては、どうしてこういうやり方をしたのかということですが、事務局から説明をいたします。</p>
事務局 (櫻井)	<p>色々なやり方がありまして、それぞれ一長一短があるのかなと思います。前回の協議会でもあったのですが、例えば、剣道部なら剣道部を1つではなくて、他の市内全部から集めるのもいいのではないかと、柔道でしたら東中でやるよといったように、いい形もあるのかなとは思いますが、そこを一気にやるにはまだハードルが高いと感じております。この実証事業としてスタートするのは、やはり送迎の問題ですとか、部活の問題もあつたりするなかで、まずはやりやすいところから、できるところからやっというということで、1校1部活という形にしております。</p>
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	<p>熊谷市では、富士見中は剣道といったように、取りまとめています。あのやり方は隣と隣でもやっているわけですね。本庄市ですと、もっとコンパクトではないですか。白岡市でも、ずっとトライ&エラーをやっているわけですので。</p>
事務局 (櫻井)	<p>スタートとしてはそうですが、例えばこの先、もっと広域でということをやらないということではないです。熊谷市は拠点校部活動という形でいこうということが決まっているので、そういうふうにやっています。</p> <p>将来的には本庄市も全部の学校、一校にすべての部活動がという形は無理だと思います。やはり統廃合をしていかなければいけないと思いますので、そういう形は今後出てくるかと思いますが、今年度についてはこの形でということになっています。</p>
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	<p>資料を見ますと、剣道は何ともいえないですが、チームスポーツではないですね。個人スポーツとしても成り立つと思います。私が最初から問題にしたのは、やはり野球部は9人いない、1チームできない、4中学校や5中学校が集まってチームを作って、合同チームで出ますということが最近ずっとあるわけです。</p> <p>ですので、そこでスタートしてしまうと、そうになってしまいませんか。例えば、体操部が2つありますけれども。</p>
下野戸会長	<p>同じ競技が2つあるということですね。</p>

(教育長)	
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	<p>実際、子どもが減っていくわけですので、そういうふうにしていく方向も今後も考えて、ケースとして作っておかないと。結局同じ部活が4つあるとなると、最低4人の顧問の先生が必要である、指導者が必要であるということになるわけです。</p> <p>それが果たして本庄市としてのモデルとして大丈夫なのだろうかということをごく思うのです。そういうことも含めて、この結論に至ったのですか。</p>
事務局(櫻井)	<p>正直、そういう方向も今後は見ていかなければいけないというのはあるのですが、スタート段階として、まずは1校1部活でやってみようとなったのです。種目については、特に指定等は考えていなかったのですが、1校1部活というのは、まずはスタートとしてはいいのではないかと行っています。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>門倉委員がおっしゃるのは、体操部が2つあるということはどうなのかなということだと思います。極論を言えば、4つとも体操部だったらどうするのかということですね。</p> <p>たまたま、児玉中が体操部 or 男子バスケ部となっていますので、そこをなるべく、4つの中学がせめて違う部活の種類の方がよりいいのかなということだと思います。</p> <p>ただし、事務局が言ったように、まずはスタートしなくてはならないところがあって、それがそれぞれの中学校でやはり、やりやすいものからがいいだろうということでの最終的な判断がこのような形になったということです。</p> <p>熊谷市でやっているということは、十分私たちも承知はしているところではあります。</p>
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	<p>これでやっていくと結局、先生がそのままやるという形もとれるわけです。検証的に、できますけれども、今まで外部コーチとして入ってきた人たちと、そんなに変わらないのではないかと感じてしまうのですが。</p>
事務局(櫻井)	<p>誰を指導者にするのかというのは、まだこれからだと思うのですが、外部コーチで地域の方がやっているというのであれば、その方がそのままそちらの地域の指導者になるっていうのは、一つの形なのかなと思います。</p> <p>全く新しい人を入れるのが大前提というわけではありませんので、その中に地域の方がいて、そこにプラスで先生方のなかでも部活をやりたい方がいますので、その方は兼職兼業でできるようにしていくというのが、一つの形なのかなと思います。</p> <p>先生ありきで、地域クラブをやることは当然ありませんので、先</p>

	生がやりたければやれる、外部指導者ですとか、地域の指導者に候補がいれば一緒にやっていける、もしくは外部指導者、地域の指導者だけでやっていけるという形なのかなと思います。
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	先生方はどうなのでしょう。先生に聞く前に私が話してしまったのですが。
下野戸会長 (教育長)	私も先ほど少し申し上げたのですが、なにか言える学校からでいいので意見はありますか。西中はどうですか。
手島委員 (本庄西中学校)	西中は検討中ということにしておりますが、教員といいますが、外部指導者がいる部活を優先して考えたときに、一番の候補は女子バスケ部なのですが、その方がずっと見てくれていて、そこを機にフェードアウトしようかどうかをちょうど考えている時期です。 その方にもっと詳しくお話することができれば、それならばやってみようというふうになってくださるかもしれないのですが、そこはまだ明確ではありませんので、こういう話があるということはお伝えしたなかで、今検討してもらっている状況です。 明確には言えないのですが、候補としては女子バスケ部という考えではいますが、その方次第で変わることもあるため、検討中とさせていただきます。
下野戸会長 (教育長)	例えば、その意中で検討していただいている方がもし駄目だったときに、次に候補を考えるとすると、学校としては何を基準に考えていくことになるのでしょうか。やはり、人ですか。
手島委員 (本庄西中学校)	そうですね。その外部指導者の方の仲間ということで、また別で教えてくださる方もいるということはあるしまして、そこで紹介していただいて、新たに入ってもらおうということも検討しております。やはり、人ということになります。
下野戸会長 (教育長)	他で言えるところはありますか。児玉中はどうですか。
瀧澤委員 (児玉中学校)	前回の協議会で1校1部活という話がありましたので、どのように決めていくのかというところを何回か教育委員会と検討しながら話をしてきました。 体操部の状況としましては、顧問が専門家ではないといったところで、外部指導者のお力をだいぶ借りているというところがあります。そういったところで、チームスポーツではないといったところが、逆に平日の練習と土日の練習で、指導者が変わってもそれほど影響がないのかなというところがあります。 全体的に本校の教員は部活動を熱心にやっていて、全体的には

	<p>本当は手放したくないという思いが教員の中にはあるのかなと思います。</p> <p>男子バスケ部につきましても、先生方に今年はこの動きがあるので、もし、この条件でやってみるならどうですかということをお話したところ、男子バスケ部の先生が少し興味があるということで、手を挙げてきたというのがあります。</p> <p>ただ実際のところ、私としても男子バスケ部は逆に少し不安がありまして、例えば、平日の練習から土日にその地域の部活になったときに、顧問がそのまま兼業ですと、チームとしての練習の連続性というのにはあるのですが、逆にそこを公募の方と、ということになりますと、指導者が2名ではまってしまうと、平日と休日の部分で例えば練習試合とか、地域の大会とかにどんな形で参加することになるのかなとか。</p> <p>また逆に言いますと、顧問2人がそのまま土日を兼業で、全くそのまま2人が変わった時には、あまり今までと変わらないのかなというところから考えますと、学校として助かるみたいなどころでいけば、体操部なのかなというふうに今、思っています。バスケ部に対しては、とりあえずどんな条件があるのか、こういう場で聞いてみるというふうに回答してある状態です。</p>
下野戸会長 (教育長)	南中はどうか。
飯島委員 (本庄南中学校)	<p>南中は体操部にしましたが、専門の指導者がというところで、実際に外部指導、部活の指導に来ていただいている方もいるのですが、やはりそういう地域人材が確保できないと、指導は危なくてできないのかなと。</p> <p>教員に体操専門の人がいればいいですけど、現状ではないので、地域の人というところというところ、ドンピシャ当てはまるのかなと思います。</p> <p>他の競技については、本校は教員が多いので、それなりに顧問がいますので、まずは指導者という面で考えると体操部であったのかなと考えております。</p>
下野戸会長 (教育長)	東中はどうか。
根岸委員 (本庄東中学校)	東中が剣道部にしたのは、昨年度末ごろからOBの方で指導に関わってくれている方がおりまして、昨年度の顧問は剣道専門だったのですが、今年度から異動してしまって、剣道は多少経験がある方なのですが、今の顧問は専門的にやってきた方ではないので、だったらこの実証事業のところでは指導に来てくださっている方を

	地域の指導者という形で充てさせていただいて、この実証事業に参加させていただければというところで、剣道部にしております。
下野戸会長 (教育長)	どこもやはり、やっていただけそうな人がいるかないかというところが大きいのかなと思います。その他、何かお気づきのことがあればお願いします。
高月委員 (藤田小学校)	<p>体操部がなぜ挙がっているのかということで話をさせていただきますと、本庄体操協会というのを本庄高校体操部 OB 会から派生して、早大本庄の元顧問の方、ヴィジョン体操クラブの方、小学校や幼稚園生などを対象とした指導者の方々が入った状態で、本庄体操協会というものをつくっております。</p> <p>そこから部活動外部指導者という形で、南中と児玉中に1人ずつ登録しているという形をとっております。そこから私たち協会員の人の、時間があったら参加してくださいという形で、私たちも自分の時間が空くと、そこに指導に入っていくという状態でやっている状況です。</p> <p>私も時間が空くと、練習時間まるまるではなくて、1時間だけですとか、そのような形で参加させてもらって、何か競技会や交流会をやる際には、お互いが時間を調整して審判として参加して、子どもたちのために大会運営を行っているという、そういう形が出来上がっているの、やりやすいという面で選ばれているのかなと思っています。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>体操というところで、市のなかに一つ協会があって、そこで色々と支援ができていて、助けていただいているということです。</p> <p>色々やっていくなかで懸念がないわけではありませんが、事務局からもあったように、とにかく前に一歩出ることが今あるのかなというところで、これですといくというわけではないと思いますし、また、本庄市としても今、野球部は隣の美里町や神川町、上里町と一緒に合同チームを組んでいるという現状を考えると、本当は本庄市だけで考えられないものもあるのかなというのはあるのですが、どうしても色々な予算があることですので、まずは、本庄市でやれることは本庄市でやっということになります。</p>
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	先ほどの野球部の話で、上里北中ですとか、市をまたいで実際にやっているところもあって、お金の話になりますが、お金が結局、国から、県からくるわけですが、それでもいいんですよ。上里町の中学校の子が来ても、美里町の中学校の子が来ても、実証事業でなければあれですけど、そこまで考えていかなくてもはなりませんよ。今すぐではないにしても。

下野戸会長 (教育長)	<p>例えばこれから、保護者負担ですとか、色々なことがあったときに、もし一緒にやるのであれば、おそらく同じような形にしておくことになると思います。</p> <p>本庄市の人だと1,000円ですとか、美里町の方は2,000円ですとか、というわけにはいかないのかと思います。その辺りは難しいのかなとは思いますが。</p>
事務局(櫻井)	<p>このエリアは、どうしても本庄市、児玉郡市で今後考えていかななくてはいけないのですが、なかなかどうやっていく形がいいのかなというのは、まだ分からないのが現状です。</p> <p>今、秩父地区が郡市をまたいでということ動き始めたところですが、ただ、実際は協議会を立ち上げるぐらいまでしか、まだ進んでいないという話もあるのですが、かなりエリアが広いので、どういう形でやっていくのかということ、秩父地区では今、実証ではないですけど、郡市でやる場合には、どうしていったらいいのかということが始まっているような段階です。</p>
笠原委員 (事務局長)	<p>児玉郡、本庄市ですと、本庄市が一步出ようとしています、残りの3町は温度差がすごくあって、おそらく全然動いていないと思います。そこが同じようにならないと、郡市でということ最終的に目指すとしても、現時点では温度差がありすぎるのが現状です。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>美里と神川は1校しかありませんので、そこをどうするのかということに尽きるかと思いますが、合同といっても町内で合同ができないので、どうしても色々なところとやらざるを得ないことになります。</p> <p>それが現実問題、野球部はもう完全に大会はそうなっています。それも毎年このチームと組むというわけではなくて、その年、その年で組むチームが変わるので、それもまた難しいことなのかなとは見えています。</p>
瀧澤委員 (児玉中学校)	<p>今の話のところで、先ほどの悩みのことになりますが、今回の事業に基づくところですので、そういった対外試合の部分などで何か縛りがかかってくるのかどうかを、このあとの検討に活かしていきたいので教えていただきたいです。</p> <p>また、2人顧問がついて、外部指導者がついてというところで、例えば、その連続性を考えると、顧問がやはり1人入っていたほうがいいのかというところを考えたときに、指導者が2人ということは決まっていますので、外部指導者とどちらか顧問というふうになってしまうと、片方の顧問はずっと出る、片方の顧問は全く出られない、そしてお金の面でもかなり差が出るというところ</p>

	<p>ろがありますので、もし可能であれば、例えば指導者2人というところを、2枠みたいな形にさせていただいて、外部指導者と顧問2人が登録して、3人出ない状態にしてもらえればと思います。</p> <p>そうすると、顧問はだいぶ負担が少ないなかで、どちらか交代で出ているということで継続しやすいのかなというのは感じました。</p> <p>もし、予算的に2人ということであれば、ぜひ枠でいただけるとありがたいなという、これは要望になります。</p>
下野戸会長 (教育長)	これについては検討の余地がありますが、事務局から説明をします。
事務局(櫻井)	<p>対外試合については、今回の実証事業のなかでは、実はまだそこまでは想定がされていません。あくまでも練習ということになります。</p> <p>例えば、顧問が兼職兼業でそのままやったとしても、そこにいる場合はあくまでも顧問ではなく、地域の指導者としての登録になります。引率するというのはまだ想定できませんので、練習ということになります。これについては、他の市町がやっている実証事業でもそうかなと思います。あくまでも休日の練習と一緒にするのかと思います。</p> <p>2枠については、いいことなのかなと思いますので検討していきたいと思います。</p> <p>一つだけ確認しておきたいことがあります。顧問の先生が入る場合について、あくまでも、やりたいというのが大前提であって、負担があるけれども入っている、2週に1回だから少しは負担軽減になっているというのではなく、指導者として、地域クラブの指導者になる場合は、あくまでも、どうしてもやりたいんだという意識、やらなければいけないという雰囲気の中でやるのは絶対に避けたいことなのです。</p> <p>やりたいということが大前提ですので、その意思確認については、他の学校もそうですが、顧問の先生がやるという場合には丁寧に意思確認をする必要があるとは思っています。</p>
瀧澤委員 (児玉中学校)	基本的にはこちらからお願いする形ではなくということですね。
事務局(櫻井)	そうです。それが前提となります。
瀧澤委員 (児玉中学校)	もう1点ですが、チームスポーツとして練習試合をやりながら、子どもにとっても練習試合はすごく大事なものだと思うのですが、そうすると、先ほどからおっしゃっているように、ある程度、

	種目が絞られてくるのかなと感じました。
事務局（櫻井）	やはり、これが他の市町でやっているところの課題の一つでありまして、練習は結構できるけれども、試合になると、どうしてもどういうふうにやっていいのかわからないというのがありまして、その時は、結局は顧問が部活動として練習試合に行っていますという声も聞きます。これについては、今後解決していかなければいけない課題かなと思います。 現時点では、あくまでも練習ということになります。
飯島委員 （本庄南中学校）	今回の実証事業では、指導者がいる、やりたい部活の顧問は指導者として、そこにいるということですか。
事務局（櫻井）	やりたい顧問は指導者として登録してもらって、教員としてではなく、こちらからの謝金をきちんと受け取ってもらって、あくまでもそういう立場としてやるということですか。
飯島委員 （本庄南中学校）	この実証事業のときは、あくまでも部活動ではないということですか。
事務局（櫻井）	部活動ではありません。
下野戸会長 （教育長）	ただ、子どもからみれば同じ人ですから。
事務局（櫻井）	今、話が出たので顧問の話ばかりしてしまいましたが、一番の中心は子どもなのですが、子どもは今入っている部活に行って、その土日の地域クラブに参加しなくてはいけないわけではありません。 子どもも当然、希望をとってということになります。それは絶対とらなくてははいけません。学校部活動ではありませんので。
瀧澤委員 （児玉中学校）	前提がやはり苦しくて、子どもは基本、部活をやりたいという子がいるなかで、土日は部活ができないのだと、勿論、同じ競技はできるけれども、そこに何か難しさがあるなど聞いてて思いました。 子どもからすると、顧問が指導者になってくれなかったみたいを受け取るのも担当する先生からすると、苦しい立場なのかなと思います。
事務局（櫻井）	そこはやはり、はじめはなかなか難しいかもしれませんが、こちら側の説明もしっかりしなくてはならないと思いますし、そうではないということを、こちらも伝えていかないといけないのかなと思います。 そうしないと結局、顧問の先生がやらなくてはいけないのかなという気持ちになってしまいますので。

飯島委員 (本庄南中学校)	実証事業がはじまりました、ここまでやります、この期間は部活はできないということですか。
事務局(櫻井)	基本的には、地域クラブでやっていただくことになります。ただ、それはこの後に日数や計画を立てていくなかで、大会のところは部活動としてやらせてほしいというのは当然あると思います。 そこは相談しながら、部活動と地域クラブでどういう形にするのかを詰めていかななくてはいけないとは思っています。
飯島委員 (本庄南中学校)	基本やらないけれども、大会や練習試合のときは、実証事業から外れた部活動としてやることもあり得るということだと思いますか。
事務局(櫻井)	練習試合もやりたいというところも出てくると思いますので、できるのかなと思います。
下野戸会長 (教育長)	いずれにしても、学校の先生自体がよくわかっていないと当然、保護者や子どもたちに説明もできませんので、ただし、まだ何かがかっちり決まっているわけではありませんが、今聞いているだけでも縛りはたくさんありますので、そのところはお互いに理解していただく必要があります。 今度は先生方が説明する側に立つわけですので、保護者から質問がきたり、子どもから質問がきたりしますので、疑問があればとにかく出していただいて、やっていければと思います。
根岸委員 (本庄東中学校)	確認のため、問題ないことだとは思いますが、剣道や柔道は錬成大会がありまして、県の強化部から、あなたは強化指定だから招いて、選手として出てください、保護者引率で連れてくれば県の強化部がみますよというものがあります。 そういうものに出る場合には、この実証事業とは全く関係ないことなので、OKということだと思いますか。
事務局(櫻井)	大丈夫です。
小林委員 (本庄東中学校)	先ほど飯島委員がおっしゃったように、この期間中、最大30回程度だから、そこで練習をどこでするかによって、このときに大会があるから部活動として行きたいというのはいいのですね。
事務局(櫻井)	大丈夫です。
小林委員 (本庄東中学校)	資料2ページには、保険のことが書いてありまして、生徒及び指導者は加入とありますが、実費負担で加入するということですか。
事務局(櫻井)	すべて市が負担します。
小林委員 (本庄東中学)	地域クラブに参加する手を挙げた子どもたちの保険も、徴収することなく、利用する生徒は保険に入るし、選ばれた指導者につい

様 式

校)	ても、教員としての立場ではなく、指導者として保険に入るということになり、これは自己負担ではないということですのでいいですね。
事務局（櫻井）	自己負担は一切ないです。
小林委員 （本庄東中学校）	資料に、令和7年度の本市の取組と書いてあるということは、今年度選ばれたそれぞれの部活ということで、1年で、その後どうなるかはまだわからないということであり、令和8年度も本校で言えば、剣道部を選んだ場合、令和8年度も同じようにやるということは前提ではないということですのでよろしいでしょうか。令和7年度のみということで。
事務局（櫻井）	まずやってみてということになりますが、この国の実証事業自体もあるかどうかはわからないという状況です。
小林委員 （本庄東中学校）	今後の令和8年度、9年度まで考えなくても、今年度は本校で言えば剣道部をやるということで。
飯島委員 （本庄南中学校）	最大30回というのは休日のみで、平日は考えていないのですか。休日のみ30回ですか。
事務局（櫻井）	休日のみです。そんなに回数は実際にはないのかなと考えています。
飯島委員 （本庄南中学校）	土日のどちらかということですね。土日両方ともやっては駄目ということでもいいですか。
事務局（櫻井）	大前提としてそうなります。例えば、土曜日は学校部活動をやって、日曜日はこの地域クラブというのは駄目です。
飯島委員 （本庄南中学校）	部活動ではないけれども。
事務局（櫻井）	大前提として駄目です。
下野戸会長 （教育長）	子ども中心でお願いします。部活動方針を守っていただくのが大前提でお願いします。
門倉委員 （本庄市スポーツ協会）	文化部のことになりますが、吹奏楽とか、大人数の部活はそれなりに各4中学校にあります。充足しているのでしょうか。書道や美術は個人的なものになりますけれど、そういった道具は学校にありますよとか、パート、パートで充足しているのかなとか。その人数は充足しているのかなとか。
下野戸会長 （教育長）	文化部で言えば、特に吹奏楽部は4中学校にすべてあります。東中は外部指導者がいます。
根岸委員	外部指導員が1人入っています。

(本庄東中学校)	
下野戸会長 (教育長)	吹奏楽部は、子どもたちは割と入りますか。児玉中はいかがですか。
瀧澤委員 (児玉中学校)	多くて、バス1台では足りなくなってしまう。非常に多いです。
下野戸会長 (教育長)	吹奏楽ですと、色々な楽器がありますので、それこそ子どもたちが独学で、ある意味、伝承的にやっているようなところもあるのかなど。指導者がいれば。
根岸委員 (本庄東中学校)	東中は、そもそも顧問が吹奏楽部出身ですので、専門的にできています。人数は、すごく多いわけでもないですけど、少ないわけでもないところで、ただ、吹奏楽の規模としては小さい部類です。
下野戸会長 (教育長)	取り組みのなかで、まずはどうしてもスポーツのほうの話が出てきますが、先ほど書道や美術のことをおっしゃっていましたが、文化部のほうが新たに立ち上げやすい部分はあるのかなと思います。技を持っている方たちが結構、地域におりますので。
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	例えばの話、今どこにもクラブがないのですが、4中学校で本庄市の部活として、ダンス部を立ち上げますということになったときに、4中学校からやりたい子が集まって、どこかの中学校に集まってみたいなものも視野に入れてくれますか。
下野戸会長 (教育長)	はい。おそらくそれが一番今の子どもたちには人気なのかなという気がします。実際に、ダンス部は白岡市が立ち上げていますので。
事務局(櫻井)	<p>新しいものを立ち上げたほうが、色々な話を聞くと、参加している生徒と保護者の声としては、あまり不満が起こらないというところもあります。</p> <p>要は、お金を取るようになったときに、平日の指導者と休日の指導者が同じ活動の場合もあると思います。そのときに、平日は部活動でお金がかかっていないのに、週末は地域クラブなのでお金を取りますといったように変わると、やはり結構そのへんで、なんでなんだという声もあったりするそうです。</p> <p>例えば、新しくダンス部を立ち上げた場合は、この値段でこんなこともしてもらえるのだったら、すごくありがたいという声も聞こえてくるそうです。</p> <p>新しいものを今後視野に入れていくべきかなと思います。</p>
小林委員 (本庄東中学)	今年度、東中で剣道部が実証事業に参加すると、他の中学校の剣道部の生徒が来ることはできないということでもいいですか。行き

校)	来はなしということでいいですか。
事務局（櫻井）	今回はそこまではできません。
小林委員 （本庄東中学校）	東中の剣道部の生徒が、その地域クラブには行かないという選択はあるけれども、他の中学校の生徒が、東中の剣道部に行きたいという選択肢はないということでいいですか。
事務局（櫻井）	今回はありません。
下野戸会長 （教育長）	反対に、例えば、剣道部に入っていないけれども、東中の生徒が剣道をやりたいと言ったら、それは受け入れてもいいのかなと。
事務局（櫻井）	それは断る必要はないのかなと思います。あるかどうかはわかりませんが。
門倉委員 （本庄市スポーツ協会）	あくまでも、その学校の生徒がということですね。
下野戸会長 （教育長）	例えば、野球部の生徒が剣道をやりたいといったときに、もしかしたらあるのかもしれませんが。考え出すと、色々なことが浮かんでできますが。
門倉委員 （本庄市スポーツ協会）	私の知り合いの娘さんは、南中の校区なのですが、ソフトボールをやりたいと、児玉中に行ったことがあります。
下野戸会長 （教育長）	本庄市も、部活動をやるということでの指定校変更は認めていますので、それもこれから地域クラブ活動が色々な形になってきたときに、その指定校変更の要件もまた、考えていかななくてはいけないのかなと思います。
高橋委員 （本庄市スポーツ少年団）	<p>部活移行委員会についての資料を配っていただいたので、少しお話をさせていただきますと、前回この協議会に出席したときにどうしたらいいのかなと考えたときに、新しく部活を入れたり、部活の地域移行をするには、地域の方々が協力していかないといけないということでしたので、部活移行委員会というものを作ったらやりやすいのではないかと思いましたので、資料を作成したところです。</p> <p>はじめのページに、組織変更と書かせていただきましたが、今は検討協議会で協議していますが、これを移行委員会に移行したらいいのかと思います。移行委員会とは、各中学校、また、文化部から、もしくはスポーツから新しいクラブを作るときに、皆さんと同じように集まっていただいて、どうやれば現実的なことができるのかというところを実践する委員会のほうに、移行していければいいのかなと考えています。</p> <p>今年の後期に、部活移行や新規部活などの申請などを受け付け</p>

て、本庄市に合わせた部活移行を検討して、スムーズに移行を促すことを検討されてはいかがかなという意見です。

次のページに移りまして、どのようなものが開催されるのかと申しますと、申請というところで、まず、中学校から部活移行の希望をとりまして、移行してみたい、もしくは移行できないかというのを推薦していただきます。

また、各種団体から、各種団体とは、例えば、スポーツ少年団や色々な地域のスポーツの団体から出していただいて、ここで申請受け付けをして、移行委員会を開催してしっかりとやっていきたいということになります。

そのためには、中学校は勿論のこと、場所と、人とモノと金ですので、基本的には、指導者と場所を提供していただいたり、文化団体、スポーツ団体についても指導者を出していきたいということでございます。そこで決定して、令和8年度に移行ができるように、また、移行ができるようなものがあれば移行していくというような委員会を作って活動したほうがいいのかと思います。

この協議会に3回出席していますが、なかなか進まないということもありますし、そういうものがありますので、令和8年度以降はもっと進めなければならないということになってくると思いますので、そうしていきたいということで書いてあります。

次のページに移りまして、そのメリットとしましては、本庄市では「市民一人1スポーツ」を目標としていますが、小学校、中学校、高校と、高校は6校ありますので、非常に多いので、そこから地域スポーツ団体ということで、これらをまず、部活移行で小中の連携をさせて、その後、高校との連携をとって、その後に地域スポーツ団体と連携をとると、本庄市にとっても都合がいいのかなと思っています。

こういった委員会をぜひ立ち上げられるように、検討していただきたいと考えております。

それから、もうひとつお願いがあります。私はスポーツ少年団の本部長ですので、地域ということで、スポーツ少年団でもぜひ、こういった部活移行に協力ができないかということで、実は今月、地域移行はできるかということで、各団体にアンケートを取りました。

本庄市のスポーツ団体は、令和5年度ですがスポーツ少年団の団員が700名おります。小学生700名いますので、間違っているかもしれないですけど、4校合わせて中学生は全部で1,400名くらいかなと思っています。半分としても、だいたい5人に1

	<p>人くらいはスポーツ少年団を経験して、中学校に入っていることになります。</p> <p>そのため、スポーツ少年団と中学校、スポーツの部活とは非常に親和性といいますか、やりやすいのではないかなと思っています。そのなかで、スポーツ少年団としてできることはないかということでアンケートを取り、今のこの話をうまくするために、どういった団体で、どういう話をするのか、バックボーンをどこに持っているのかということで取りました。</p> <p>スポーツ少年団は31団体ありますが、その内、22団体から回答をいただきました。土日の受け入れができるかというアンケートですが、サッカーにつきましては、4団体から返事が来まして、「できる」が1団体、「できない」が2団体、「条件によっては検討する」が1団体ありました。</p> <p>軟式野球につきましては、4団体から来まして、「条件によっては検討する」が4団体すべてでした。</p> <p>バスケットボールにつきましては、やはり、コートの大さきやリングの高さが違うので、なかなかできないというのがありました。が、1団体のみ「できる」との回答をいただいています。</p> <p>剣道につきましては、「できる」が1団体、「条件によっては検討する」が1団体です。</p> <p>空手道につきましては、「できない」。</p> <p>少林寺拳法につきましても、「できない」。</p> <p>柔道につきましては、「できる」。土日であれば受けられるとのこと。</p> <p>体操につきましては、「できない」。</p> <p>バドミントンにつきましては、「条件によっては検討する」。</p> <p>バレーボールにつきましては、「できる」。</p> <p>ドッジボールにつきましては、「条件によっては検討する」とのこと。</p> <p>このように、きちんと条件を、中学校からの条件、本庄市からの条件、スポーツ少年団からの条件ということでやっていけば、かなりスポーツ移行も、皆さんで一つ一つの団体、中学で考えなくても、例えばこれを移行したいなといったときに、もっと出してもらって、どうしようかとなったときには、スポーツ少年団から出すのか、もしくはスポーツ協会から指導者を出してもらおうのか、文化団体から出してもらおうのか、非常に話を聞きやすく、オープンでできるのではないかなと思います。</p> <p>スポーツ少年団の場合は、指導者もしっかりしていますし、10</p>
--	--

	<p>年や20年、子どもたちに教えている人たちもたくさんいます。</p> <p>組織的に個人で外部コーチを頼むと、その方が転勤して不在になったりしたら、そこでもう終わりになってしまいますが、スポーツ少年団の場合は、受け入れるとすれば、確かに中学校の場合は別の人を指導につけますけれど、万が一のとき、人が多いときは、小学校を教えている指導者も一緒にということもできるような形になると思います。</p> <p>小中一貫ということで、小中学校が一本化というのも、私どもスポーツ少年団も小中を一本化していかないと、なかなか生き残れないということもありますので、そういったこともご検討いただければと思っています。</p> <p>スポーツ少年団の話と二つになってしまいましたが、ぜひ移行委員会については、早急に対応できればと考えています。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>ありがとうございました。部活移行委員会については、高橋委員からのご提案ということです。資料を見ながら説明していただいたので、大体的内容はお分かりいただいたかと思いますが。</p>
事務局(櫻井)	<p>ご提案ありがとうございます。協議会から移行委員会にとのことご提案ですが、確かに地域移行を専門的に進めていく組織があると、色々なことが早く進むかなというのは担当者としても大変感じてはいるのですが、このままこれができるかということは、さらに慎重に検討しなければいけない内容かなとは思っていますので、協議会は協議会として引き続きやっていくものかなとは思っています。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>ありがとうございます。ただ、どうしてもここで話をすると、総括的な話になってしまうのでということで、このようなご提案があったのかなと思います。</p>
高橋委員 (本庄市スポーツ少年団)	<p>それから、新規で一つ作りたいなというのが、自分のところの部活でありますので、令和8年ぐらいから対応できればと考えています。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>せっかくの子どもたちのいわゆる部活といいますか、色々な活動を多様にできるようなものを、場所や機会を用意していこうというのは、皆さん同じ思いだと思います。</p> <p>そうしたなかで、学校側と話をするというのは、なかなか今までなかったのかなと思いますが、これが一つの大きな機会になって、これについては今後検討させていただいて、この協議会のなかでも、どうしていくのかということ、ぜひより良い本庄市ならではの提言ができればありがたいなと思います。</p> <p>それでは、なかなか私がまとめられなくて申し訳ないですが、他にご意見等がなければ次の議事に移らせていただきますが、よろ</p>

	<p>しいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>次に、議事(3)指導者の公募について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局(田中)	<p>資料5ページをご覧ください。指導者の公募について説明いたします。本庄市では6月から7月にかけて、市ホームページ等で募集を行う予定です。現在、部活動顧問として活動している先生方や外部指導者の方々も含め、応募していただいたなかから、指導者を決定していこうと考えております。</p> <p>また、決定する基準につきましては、難しいところではあるかと思いますが、競技経験や実績等も含め、部活動ガイドラインを遵守して活動を行うことなど、各中学校の校長先生や顧問の先生とも協議していきながら進めていきたいと考えております。以上でございます。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>先ほどから指導者のことについては、色々と委員の方からもご意見が出ておりましたが、まだ決まっていないことがあるというなかではあります。公募を6月から行うということは、競技名も決まってしまうことになるかと思えます。</p> <p>この点につきまして、何かご質問等はございますか。</p>
根岸委員 (本庄東中学校)	<p>今の指導員の方が、この公募に手を挙げていただいた場合、今度はこちらの地域クラブ活動の指導者になる場合、普段は部活動指導員として平日に来ていただいておりますが、この実証事業のときは、ここから謝金が出るということによろしいですか。</p>
事務局(櫻井)	<p>問題ないです。</p>
根岸委員 (本庄東中学校)	<p>この時はこちらから、この時はこちらからというように、分けて考えるということによろしいですか。</p>
事務局(櫻井)	<p>そうなります。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>仕分けとしてはそういう形になります。そのあたりもご理解をいただいて、丁寧な説明が必要かなと思います。</p> <p>他にご意見等がなければ次の議事に移らせていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>次に、議事(4)説明会の実施について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局(田中)	<p>資料6ページをご覧ください。説明会の実施について説明いたします。</p> <p>実証部活動が決定しましたら、それぞれの学校や顧問の先生方</p>

	<p>への説明、また、併せて実証部活動の生徒及び保護者の方への説明会を実施していただければと考えております。</p> <p>それぞれ各中学校に伺わせていただきまして、事務局より説明させていただく予定です。実施日時等については、中学校部活動との協議のうえ設定していく予定でございます。以上でございます。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>説明会の実施についての説明がありましたけれども、まだ説明する内容が何も決まっていない状況ですが、ただ、やはり保護者の方にしっかり説明していかないと、誤解を招いてしまうと、一生懸命やる先生も、一生懸命やりたい子どもたちにも、いい影響がありませんので、委員会としてもしっかり説明していきたいと考えております。</p> <p>以上で、4つの議事について説明させていただきましたが、元に戻っていただいても構いませんので、これだけは聞いておきたいというのがあればお願いします。</p>
清水委員 (神流川スポーツクラブ)	<p>5ページの指導者の公募についてですが、競技経験や実績があることが条件に載っておりますが、経験や実績があれば誰でもいいということですか。</p> <p>私も長くスポーツに携わっていますが、例えば、コーチや指導者に多少、問題があった場合、スポ少も含めて、そういった場合はどう評価するのか、誰が評価するのかというところが気になりました。</p> <p>また、これは部活動ではないということですが、部活動ではないけれども、部活動ガイドラインを遵守することになります。全く部活動をやったことのない指導者が、このガイドラインをすぐに頭に入れてやれるのかどうか気になりました。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>今後、どのようにしていくかというのは検討します。ありがとうございます。その他はいかがでしょうか。</p>
根岸委員 (本庄東中学校)	<p>説明会の実施について、市から説明会に来てもらえて、市が説明をしてくれるということでしたが、そのほうがいいかなと思います。各学校に任せられてしまいますと、説明の仕方に温度差が生まれてしまいますので、同じシステムでしていただけるので、ありがたいです。</p> <p>また、該当していない部活の生徒にどう説明するのか。つまり、全生徒に対して、それを説明する必要があるのか。要は、該当している部活だけに、何かわからないうちに該当する部活になっていてというもおかしな話ですし、市の方針として、こういう話があって、今年度はこの学校でこれをやりますということをおある程度丁寧に説明しておかないと、令和8年度、令和9年度と続いたとき</p>

	<p>に、またその部活がパッと急に出てきてということになりますので、地域移行に向けて動きは始めているということと、併せて、該当する部活については勿論ですが、生徒全体に対しても説明する必要があるのではないかと思います。</p> <p>今すぐではなくてもいいので、検討していただければと思います。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>先ほど皆さんから出た質問と同じことを、おそらく子どもたちも思うでしょうし、保護者の方も思うでしょうし、今聞きながら思ったのが、小学校の高学年、5・6年生でもどうなるのかなということが時々私の耳にも入ってきますので、そういった小学校の高学年、もうすぐ中学生になる人たちにも、やはりどこかのタイミングで話をしなければいけないのかなと思います。中学生は当然ながら。</p>
根岸委員 (本庄東中学校)	<p>特に小学校の父兄から、そういった声が実際あります。部活がなくなってしまうのかとか。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>そういったご意見をいただければ、市としてしっかり対応していきたいと思います。</p>
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	<p>私が思ったのは、新しい部活であったり、統廃合であったり、少し大鉈を振るっていかないと、あと5年後には全国で70万人いない、このような状況で小学校1年生が入ってくるわけですので、取りっこになってしまいます。</p> <p>そもそも存続できなくなってしまうのではないかとというくらいで、統廃合なりで、また次のステップとして考えていかないと、親御さんが心配しているように、部活動がなくなってしまうのではという声が聞こえますので、そうならないように、持続可能な部活動のあり方という話もありましたので、そういう形を作っていくかといけないと思います。</p> <p>部活を絶対やりたい、スポーツなどの活動をしたいという子は絶対にいますので、その子供たちの受け皿を絶対続けていかないといけないと思いますので、何度も申し上げますけれど、そのためにそういった仕組みをしっかりと作っていただきたいと思います。</p>
下野戸会長 (教育長)	<p>ありがとうございます。子どもたちのために頑張りたいと思います。</p> <p>その他にご意見はございますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>色々なご意見をいただきましたが、何ができるかは皆さんのご協力をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろし</p>

様 式

	<p>くお願いいたします。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局（田中）	<p>本日は貴重なご意見、ご提案等をありがとうございました。</p> <p>本日の協議会で皆さまからいただいたご意見、ご提案につきましては、本庄市の実情にあった学校部活動及び地域クラブ活動の整備に向けた取組に活かしてまいります。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第4回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会を閉会といたします。本日は、誠にありがとうございました。</p>